

Briefing Transcription

|| 2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明文字起こし ||

富士ユナイトホールディングス株式会社

416A 東証スタンダード市場

企業情報はこちら >>>

紹介動画はこちら >>>

2026 年 8 月 14 日 (金)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 目次

■ 決算を受けてのフィスコアナリストコメント	01
■ 出演者	02
■ 決算説明	03

■ 決算を受けてのフィスコアナリストコメント

- ・富士興産は、1949 年に創業し、戦後の産業需要拡大を背景に燃料からアスファルト・潤滑油・LPG へ領域を拡大、近年は廃油再生やバイオ燃料など循環型ビジネスを強化している。2025 年 10 月に持株会社体制への移行にともない上場を廃止し、富士ユナイトホールディングス<416A>の子会社となった。
- ・2027 年 3 月期第 1 四半期決算は、売上高が前期比 16% 増の 18,008 百万円、営業利益が同 7 倍の 1,052 百万円と大幅増収増益を達成した。油漏洩事故対応の大型案件、再生重油や鉄・非鉄スクラップの販売単価上昇、住設販売の拡大や灯油販売の増加に加え、特に需給がひっ迫する中で石油製品やアドブルーの利益が大幅に伸びた。
- ・2030 年度に向けたロードマップでは、特にグリーン（リサイクル、環境対応エネルギー）領域を伸ばすことで、営業利益 2,100 百万円を目指す方針が示された。PER15 倍の評価を受けると、時価総額で 189 億円程度が試算される（現在 77 億円）。現状でも高い配当利回り 5.3% も、さらに上昇することになる。PBR も 0.76 倍と割安感がある。

※配当利回り 5.3%および PBR0.76 については、2026 年 8 月 7 日時点

富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード市場

2026 年 8 月 14 日 (金)

■ 出演者

富士ユナイトホールディングス株式会社
代表取締役社長

川崎 靖弘様

富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード市場

2026 年 8 月 14 日 (金)

■ 決算説明



富士ユナイトホールディングス 代表取締役社長 川崎様

皆様、こんにちは。富士ユナイトホールディングス株式会社代表取締役社長の川崎です。平素は格別のご愛顧を賜り、心より感謝申し上げます。

本日は、2027 年 3 月期第 1 四半期決算についてご説明いたします。



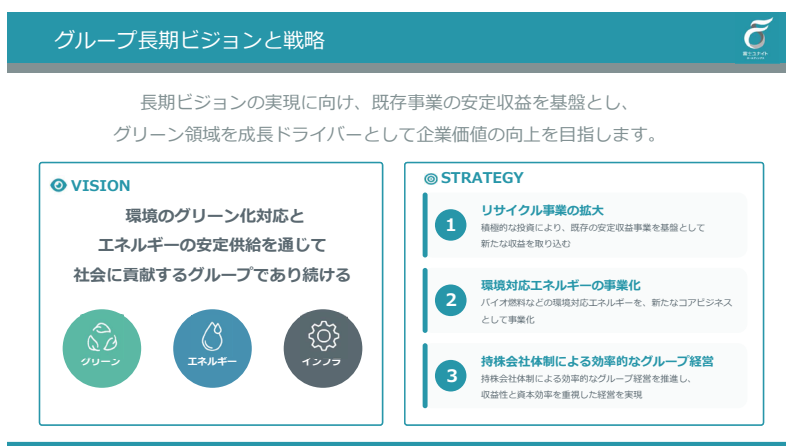
本日の議題は、長期ビジョンの実現に向けた戦略、2027 年 3 月期第 1 四半期の決算内容、株主配当の 3 点です。

富士ユナイテッドホールディングス株式会社 | 2026 年 8 月 14 日 (金)
416A 東証スタンダード市場

決算説明



はじめに、長期ビジョンの実現に向けた戦略について説明いたします。

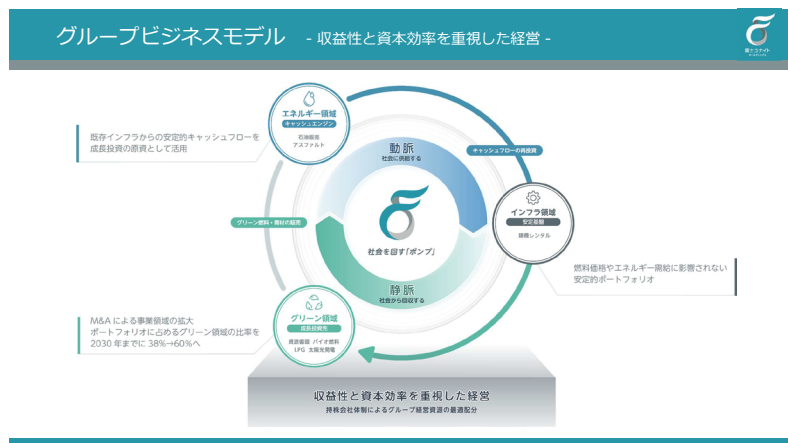


当社グループは、「環境のグリーン化対応とエネルギーの安定供給を通じて社会に貢献するグループであり続ける」という長期ビジョンを掲げています。この実現に向け、昨年 10 月に持ち株会社化したことを機に、事業をグリーン、エネルギー、インフラの 3 つの領域に区分し、それぞれの強みを生かした事業展開を進めています。

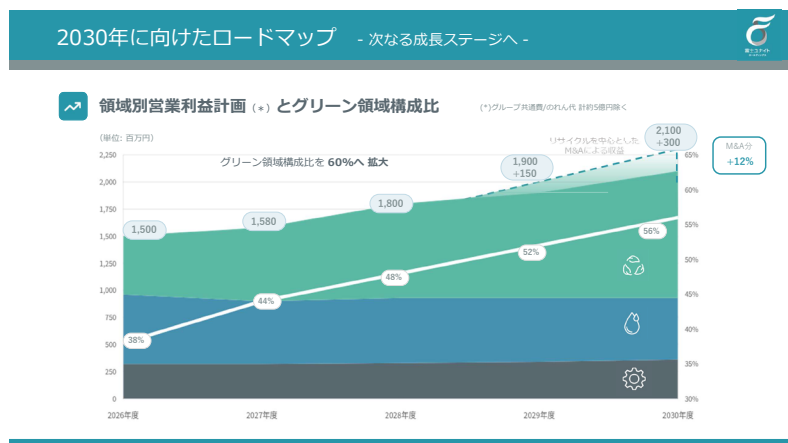
戦略の柱は 3 点あります。1 つ目は、積極的な投資によるリサイクル事業の拡大です。2 つ目は、バイオ燃料をはじめとする環境対応エネルギーを新たな成長事業として育成することです。3 つ目は、持株会社体制による効率的なグループ経営を推進し、収益性と資本効率の向上を図ることです。当社グループは、既存事業による安定した収益を基盤とし、グリーン領域を成長ドライバーとして企業価値の向上を目指します。

富士ユナイトホールディングス株式会社 | 2026 年 8 月 14 日 (金)
416A 東証スタンダード市場

決算説明



当社のビジネスモデルは、社会にエネルギーやインフラを供給する動脈と、廃棄物や資源を回収・再資源化する静脈により構成されています。これらを統合することで、資源循環型のエネルギーインフラ企業として独自のポジションの確立を進めています。エネルギー領域およびインフラ領域は、既存インフラを活用した安定的なキャッシュフローを創出する収益基盤として機能しています。ここで創出した資本をグリーン領域へ再投資することで、成長と収益の好循環を実現していきます。この資本循環型のビジネスモデルは、当社グループの持続的成長を支える中核です。



2030 年に向けたロードマップにおいては、既存事業の成長に加え、リサイクル事業を中心とした M&A を取り込みながら、営業利益のさらなる拡大を目指します。また、営業利益に占めるグリーン領域の構成比を、2030 年には 60 パーセントまで高める計画です。今後もリサイクル事業や環境対応エネルギー事業への投資を積極的に進め、グリーン領域を当社グループの成長の中心へと育てることで、持続的な企業価値の向上につなげます。

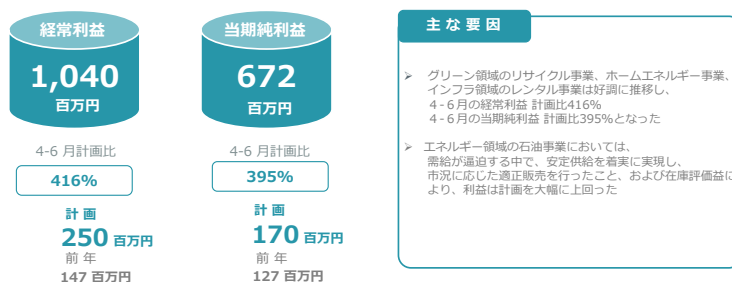
富士ユナイテッドホールディングス株式会社 | 2026 年 8 月 14 日 (金)
416A 東証スタンダード市場

決算説明



次に、2027 年 3 月期第 1 四半期の決算内容についてご説明いたします。

2027年3月期（4-6月）決算ハイライト



グリーン領域、エネルギー領域、インフラ領域のすべての領域の事業が好調に推移し、経常利益は計画比 416 パーセント、当期純利益は計画比 395 パーセントとなりました。特に、エネルギー領域の石油事業においては、需給が逼迫する中で安定供給を着実に実現し、市況に応じた適正販売を行ったことや在庫評価益により、利益は計画を大幅に上回りました。

富士ユナイテッドホールディングス株式会社 | 2026年8月14日(金)
416A 東証スタンダード市場

決算説明

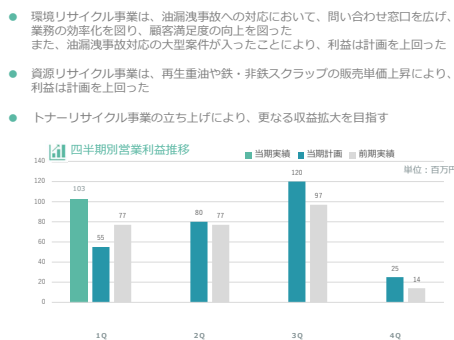
2027年3月期(4-6月) 決算概要 - 3領域 5事業 -

2027年3月期 第1四半期	2027年3月期/4-6月決算			2026年3月期/4-6月決算	
	実績	計画	達成率	実績	前年対比
売上高	18,008	17,500	103%	15,578	116%
営業利益	1,052	250	421%	149	706%
グリーン領域 リサイクル ホームエネルギー 環境対応エネルギー	136	60	227%	57	239%
エネルギー領域 石油	963	300	321%	19	5,068%
インフラ領域 レンタル	69	30	230%	74	93%
共通経費 (M&A経費を含む)	▲117	▲140			
経常利益	1,040	250	416%	147	707%
純利益	672	170	395%	127	529%

© 2026 FISCO UNITED HOLDINGS Confidential - Please Do Not Share Without Permission.

領域別実績はご覧の通りです。詳細は以降のスライドでご説明いたします。

グリーン領域 業績 < リサイクル事業 >

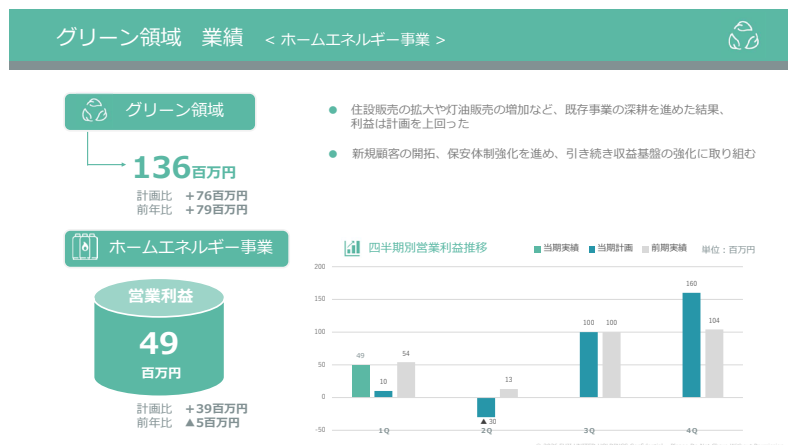


© 2026 FISCO UNITED HOLDINGS Confidential - Please Do Not Share Without Permission.

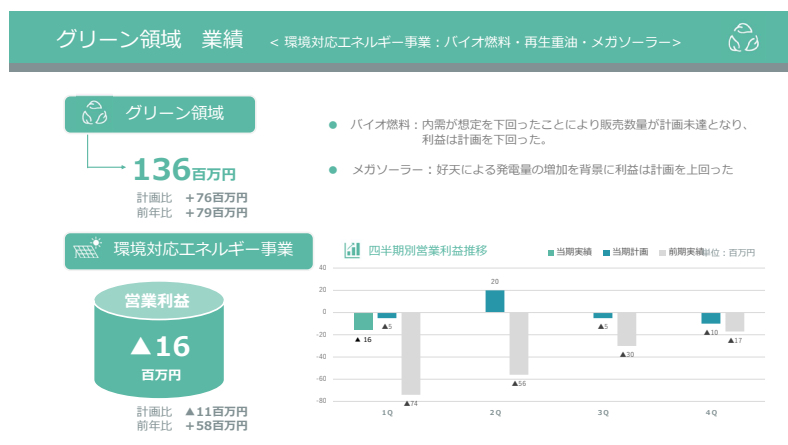
グリーン領域のリサイクル事業についてです。環境リサイクル事業は、油漏洩事故対応において問い合わせ窓口を拡充するとともに、業務の効率化を進め、顧客満足度の向上に取り組みました。さらに、油漏洩事故対応の大型案件を受注したことにより、利益は計画を上回りました。資源リサイクル事業は、再生重油や鉄、非鉄スクラップの販売単価上昇により、利益は計画を上回っています。今後はトナーリサイクル事業の立ち上げにより、さらなる収益拡大を目指します。

富士ユナイトホールディングス株式会社 | 2026 年 8 月 14 日 (金)
416A 東証スタンダード市場

決算説明



グリーン領域のホームエネルギー事業は、住設販売の拡大や灯油販売の増加など、既存事業の深耕を進めた結果、利益は計画を上回りました。新規顧客の開拓と保安体制の強化を進め、引き続き収益基盤の強化に取り組んでまいります。



グリーン領域の環境対応エネルギー事業についてです。バイオ燃料は内需が想定を下回ったことにより販売数量が計画未達となり、利益は計画を下回りました。メガソーラーは好天による発電量の増加を背景に、利益が計画を上回っています。

富士ユナイテッドホールディングス株式会社 | 2026 年 8 月 14 日 (金)
416A 東証スタンダード市場

決算説明

エネルギー領域 <石油事業：石油製品・アドブルー>



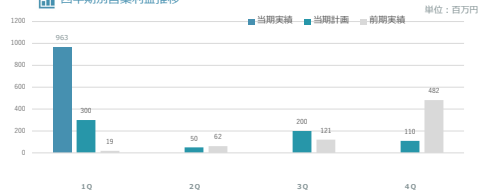
エネルギー領域
石油事業

963 百万円

計画比 +663百万円
前年比 +944百万円

- 石油製品：需給が逼迫する中で、安定供給を着実に実現したこと、市況に応じた適正販売を行ったこと、および在庫評価益により、利益は計画を大幅に上回った
- アドブルー：需給逼迫への懸念を背景とした一時的な需要増加により、受注が増加した。加えて、カーショップ、ホームセンターなどの小売店向けの販売を強化したことにより、利益は計画を上回った

四半期別営業利益推移



© 2026 FUJII UNITED HOLDINGS Confidential - Please Do Not Share Without Permission.

エネルギー領域の石油事業は、需給が逼迫する中で安定供給を着実に実現するとともに、市況に応じた適正な販売を行いました。また、在庫評価益も寄与し、利益は計画を大幅に上回りました。アドブルー事業では、需給逼迫への懸念を背景とした一時的な需要増加により、受注が増加しました。加えて、カーショップやホームセンターなどの小売店向け販売を強化した結果、利益は計画を上回っています。なお、中東情勢を背景とした地政学リスクにより、原油価格やエネルギー需給は依然として不安定な状況が続いており、先行きは不透明です。こうした外部環境の変化は当社グループに大きく影響するため、市場動向を慎重に見極めながら、適切な事業運営に努めます。

インフラ領域 <レンタル事業>



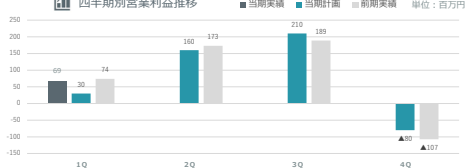
インフラ領域
レンタル事業

69 百万円

計画比 +39百万円
前年比 ▲5百万円

- 公共工事需要の減少分を民間工事の需要取り込みにより補ったことで、売上は計画および前年並みを確保し、利益は計画を上回った
- 新規開拓や提案型営業の強化を推進し、引き続き競争力と収益基盤の強化に取り組む

四半期別営業利益推移



© 2026 FUJII UNITED HOLDINGS Confidential - Please Do Not Share Without Permission.

インフラ領域は、公共工事需要の減少分を民間工事の需要取り込みにより補ったことで、売上は計画通り、および前年並みを確保し、利益は計画を上回りました。また、新規開拓や提案型営業の強化を推進し、引き続き競争力と収益基盤の強化に取り組んでまいります。

富士ユナイトホールディングス株式会社 | 2026 年 8 月 14 日 (金)
416A 東証スタンダード市場

決算説明



株主配当

最後に、株主の皆様への配当についてご説明いたします。

株主配当

	単位	中間(予想)	期末(予想)	合計
純利益	(百万円)	250	600	600
配当総額	(百万円)	204	204	408
配当単価	(円/株)	31	31	62
対象株数	(千株)	6,599	6,599	—
配当性向	(%)	—	—	68.2%

中間配当につきましては、業績予想通り 1 株あたり 31 円を予定しています。当社は今後も高水準の配当方針を継続しつつ、将来の成長に向けた戦略的な投資を着実に進めてまいります。

以上で私からの説明を終わります。今後とも富士ユナイトグループに絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp